

# 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[コンフィギュレーションレジスタの値の確認](#)

[ブートイメージとTFTPサーバを使ってダウンロードする](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、ROMmon ( rommon#> または> プロンプト ) にスタックされる Cisco 2500、3000 および AS5100、uBR900 シリーズ ルータの回復手順を説明します。

## 前提条件

### 要件

ROMmon モードからルータを回復するには、ルータが物理的にアクセス可能であり、コンソールポートに端末が接続されている必要があります。 インターフェイスへの Telnet 接続では、ROMmon からルータを回復することができません。 [TFTP サーバからルータに Cisco IOS® ソフトウェアイメージをコピーする](#)方法を理解している必要があります。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のハードウェアに基づくものです。

- Cisco 2500 シリーズ ルータ
- Cisco 3000 シリーズ ルータ
- Cisco AS5100 シリーズ ユニバーサル アクセス サーバ
- Cisco uBR900 シリーズ ルータ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。 このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。 対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## コンフィギュレーションレジスタの値の確認

最初に、ルータが ROMmon モードで起動した理由を調べます ( ルータがこのモードで起動した

ことは、「rommon #>」または「>」プロンプトからわかります)。原因がコンフィギュレーションレジスタ値の変更であるか、または破損した Cisco IOS ソフトウェアのイメージかどうかを判別します。

ルータに有効な Cisco IOS ソフトウェア イメージがある場合、コンフィギュレーションレジスタ値を 0x2102 に変更することでルータを回復できます。この手順を次に示します。

1. ROMmon のプロンプトが「>」の場合は、ROMmon プロンプトで次のように入力します。  

```
>o/r 0x2102 >i System Bootstrap, Version 11.0(10c)XB2, RELEASE SOFTWARE Copyright (c) 1986-2003 by cisco Systems 2500 processor with 16384 Kbytes of main memory F3: 10021772+2241116+562960 at 0x3000060 Restricted Rights Legend Use, duplication,.....
```
2. ROMmon のプロンプトが「rommon #>」の場合は、このプロンプトで次のように入力します。rommon 1> **confreg 0x2102** 新しいコンフィギュレーションを有効にするには、ルータをリセットまたは電源の再投入を行う必要があります。rommon 2> **reset**System Bootstrap, Version 12.0(6r)T3, RELEASE SOFTWARE (fc1)Copyright (c) 1999 by cisco Systems, Inc.UBR924 platform with 16384 Kbytes of main memory..... ルータが正常に起動した場合は、コンフィギュレーションレジスタ値の問題が原因です。

ルータが ROMmon で再び起動する場合は、「[ブートイメージと TFTP サーバを使ってダウンロードする](#)」に進みます。

## ブートイメージとTFTPサーバを使ってダウンロードする

メインのCisco IOS(R) ソフトウェアが削除されているか破損している場合、2500、3000 または AS5100、uBR900 シリーズ ルータのイメージをインストールする方法は 1 つだけです。該当するブートイメージを使用してください。

ROMmon でルータが起動する原因がコンフィギュレーションレジスタ値ではないと既に判断しているため、唯一の回復方法は、ROM の組み込みブート イメージ (Rx-boot) を使用して TFTP サーバから Cisco IOS ソフトウェアを再インストールまたはアップグレードする方法です。

Rx-boot モードまたはブート イメージに切り替えるには、次の手順を実行します。

1. rommon プロンプトが「rommon #>」の場合は、次のように入力します。rommon 1 > **confreg 0x2101** 新しいコンフィギュレーションを有効にするには、ルータをリセットまたは電源の再投入を行う必要があります。rommon 2>**reset**System Bootstrap, Version 12.0(6r)T3, RELEASE SOFTWARE (fc1) Copyright (c) 1999 by cisco Systems, Inc. UBR924 platform with 16384 Kbytes of main memory.....
2. rommon プロンプトが「>」の場合は、次のように入力します。>o/r 0x2101 >i System Bootstrap, Version 11.0(10c)XB2, RELEASE SOFTWARE Copyright (c) 1986-1994 by cisco Systems 2500 processor with 16384 Kbytes of main memory Restricted Rights LegendUse, duplication, or .....!--- Output suppressed.....16384K bytes of processor board System flash (Read/Write)Press RETURN to get started! hostname(boot)> プロンプトが「router (boot)>」であることに注意してください。これは、ルータがブート イメージを使用して起動したことを示します。注: ルータが再び ROMmon で起動する場合、ブートイメージが破損しているかまたは欠落している可能性があります。唯一の回復方法はプロセッサボードのシステムフラッシュまたはハードウェアを交換することです。
3. 次に、次のようにして Cisco IOS ソフトウェアをアップグレードします。  
hostname(boot)>**enable**hostname(boot)#**copy tftp flash**System flash directory:File Length Name/status 1 2416128 c2500-is-1.123-1a.bin [invalid checksum][2416192 bytes used, 14361024 available, 16777216 total]Address or name of remote host [255.255.255.255]? **172.16.1.2** Source file name? **c2500-is-1.123-1a.bin**Destination file name [c2500-is-1.123-

